



つつじが丘

第102号
発行
つつじが丘コミュニティ
広報部会

防災に対する意識を実感

12月7日(日)につつじが丘小学校をはじめ、各地区の公園にて防災訓練が実施されました。今回は小学校の体育館が工事中で使用出来ないため、グラウンドの一部を使用しての実施となりました。当日は、少し肌寒さを感じましたが天候にも恵まれ有意義な訓練となりました。

最初に各地区の班長が、各家庭の「無事ですカード」と「無事ですタオル」で安否確認をすると共に、要援護の家庭に声かけを実践しました。その後、各地区の一時避難場所になっている公園に集まり、指導者による災害時の行動や防災用の道具・器具等の説明があり、実際に心臓マッサージやAEDの使用方法やリヤカー・担架・消火器三角巾の使用方法や消火栓からの放水訓練も体験しました。

一時避難場所での訓練終了後、参加者の一部は会長の指揮のもと避難所となっている小学校へ移動し訓練に参加しました。



小学校のグラウンドでは、避難所の開設訓練が行われ、8時15分からコミュニティ役員・駐在員を始め市役所職員市消防職員のみなさんにより、テントの設営や机・イスの配置をして受付場所を設けたりして避難所を開設し、防災用品の展示とガレキからの救出訓練と濃煙体験の準備を済ませ避難者の受け入れ準備が完了しました。

10時10分から避難者の受け入れを開始し検温と体調の確認を行い、発熱者は専用の場所に待機させる訓練を行いました。その後、研修会を開始して防災士による簡易テントや段ボールベッドの組立や簡易トイレの使い方について、消防職員から煙の充満した部屋から避難する濃煙体験やガレキからの救出方法の説明を聞きました。また、市役所職員から展示されている防災用品の説明があり、参加者は実際に発電機の始動を体験したり、防災倉庫内の用品についても説明を聞きながら見学しました。

実際に体験しながら学ぶ事で、防災に対する意識がより一層高まり地域での連携や備えの重要性を改めて実感する貴重な機会となりました。



防災訓練



皆の熱意が彩ったつつじが丘文化祭

本年度のつつじが丘文化祭が、11月1日(土)・2日(日)の二日間にわたり開催されました。1日目は、8時に実行委員の皆さんが集合し、展示準備や会場設営を行いました。開場時間の9時には多くの来場者が訪れ会場は賑やかな雰囲気になりました。10時から展示会場もオープンして、小中学生やまさ美幼稚園の園児を始め地域の皆さんの作品が並び、訪れた多くの方々が足を止めて鑑賞されていました。

1日目の文化祭を彩った催しとして「ピアノとヴァイオリンの演奏会」が開催され、ピアノの柔らかな音色とヴァイオリンの澄んだ旋律が会場を満たし、来場者は息をのむように聴き入っていました。演奏会は、文化祭の雰囲気に華やかさと落ち着きを添える印象的な催しとなりました。また、午後からホールで行われた芸能発表会では、バレエや舞踊・合唱・ダンス・太極拳など多彩な演目が披露され観客からは大きな拍手が送られていました。

会場の外では、バザーや朝市をはじめ五平餅・ぜんざい・うどん・そばの販売も行われ大盛況で、食事をしながらの会話が文化祭に華を添えていました。



2日目も、9時より展示開場がオープンし、訪れた来場者がゆっくりと作品鑑賞を楽しまれる姿が多数見受けられました。また、9時30分からはホールで昨日に続き芸能発表会が行われ、フラダンス・舞踊・バンド演奏・大正琴・健康体操・詩吟など幅広い年代の方々が見事な演技を披露し舞台を盛り上げていました。

